

省力的な除草技術について学ぶ！

～ニンジン栽培における機械除草研修会～

山武農業事務所改良普及課 令和5年10月25日発

山武地域では、台地の黒ボク畑を中心に、ニンジンを基幹とした経営が行われており、生産現場では除草作業の省力化が課題となっています。そこで農業事務所では、生産者や関係機関の除草技術に関する理解を深め、ニンジン産地の振興を図ることを目的に、9月25日に機械除草の研修会を開催しました。

当日は、生産者、関係機関、合わせて37名の参加がありました。研修では、乗用型トラクターに装着し、畝間を除草する中耕除草機の実演の他、農林総合研究センターで取り組んでいる試験研究の情報提供を行いました。参加した生産者からは「除草機械を利用することで作業が楽になる。導入を前向きに検討したい」等の意見が聞かれました。

今後も当事務所では、ニンジン産地の維持・発展のため、関係機関と連携しながら、省力的な栽培技術等の導入支援を行っていきます。



中耕除草機の概要説明



中耕除草機の実演